

ヒメシカシラミバエ



ヒメシカシラミバエ、雌（美作市産） 左：背面；右：腹面. スケール：2.0 mm

2014年、有害獣として駆除されたニホンジカの皮と骨の部分を美作市の獣肉処理施設から譲り受けて、「脊椎動物グループ」のメンバーと毛皮と骨格標本の作製に取り組みました。生の毛皮の防腐処理として塩とミョウバンの水溶液に数日間浸けるのですが、毛皮を引き上げた後の水溶液中にぽつぽつと虫のようなものが見えます。大きいのが小さいのが混ざる丸っこいのはマダニの仲間ですが、体長4mmくらいの平べったい虫も多数見つかりました。

回収して顕微鏡で見ると、トンボの幼虫のヤゴのような風貌です。はねはありませんが、脚は6本なので確かに昆虫です。調べてみると動物に寄生するシラミバエ科の仲間らしいことがわかりました。後に、寄生虫研究者の山内健生さん（現 帯広畜産大学）のご協力で、この虫はシカ専門に寄生するヒメシカシラミバエとわかり、岡山県での初発見として報告しました（山内・奥島、2018、倉敷市立自然史博物館研究報告第33号、上写真）。

奥島雄一（昆虫担当）

パオちゃん's EYEに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp



「パオちゃん's EYE」
は博物館ホームページでカラーで見られるよ！

